



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 東レ株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 3402 URL <http://www.toray.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日覺 昭廣

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 中山 喜昭

TEL 03-3245-5178

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	364,092	△2.9	17,267	△36.7	19,105	△34.3	10,082	△43.3
24年3月期第1四半期	374,833	7.0	27,263	68.2	29,079	100.0	17,768	105.5

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 21,226百万円 (△25.7%) 24年3月期第1四半期 28,556百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	6.19	6.01
24年3月期第1四半期	10.90	10.32

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,616,119	688,009	39.5
24年3月期	1,581,501	674,149	39.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 638,566百万円 24年3月期 627,111百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	790,000	△1.2	40,000	△36.9	39,000	△40.5	21,000	△47.6	12.89
通期	1,730,000	8.9	115,000	6.8	114,000	3.8	66,000	2.8	40.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	1,631,481,403 株	24年3月期	1,631,481,403 株
----------	-----------------	--------	-----------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	2,065,402 株	24年3月期	2,188,912 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	1,629,331,246 株	24年3月期1Q	1,629,348,790 株
----------	-----------------	----------	-----------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	P. 4
2. 四半期連結財務諸表 .....	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ...	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	P. 9
(4) セグメント情報等 .....	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国経済は緩慢ながら回復基調で推移しましたが、欧州債務問題が欧州の実体経済に影響を及ぼし、新興国経済についても輸出や投資の伸びが鈍化しています。一方、国内経済は、東日本大震災からの復興関連需要や自動車に対する消費刺激策の効果を背景に緩やかな回復傾向が続きました。なお、内外ともに2011年前半には比較的堅調であった衣料品、薄型テレビ、IT関連製品向けなどの需要については、同年秋以降の世界的な景気減速の影響を受け、足元では回復過程にあるものの、前年同期の水準までには回復しませんでした。

このような事業環境の中で、当社グループは、2011年4月からスタートさせた中期経営課題“プロジェクトAP-G 2013”に基づき、「成長分野及び成長地域における事業拡大」を要とした成長戦略を実行するとともに、トータルコスト競争力の更なる強化に努めております。

以上の結果、当第1四半期の当社グループの連結業績は、売上高は前年同期比2.9%減の3,641億円、営業利益は同36.7%減の173億円、経常利益は同34.3%減の191億円、四半期純利益は同43.3%減の101億円となりました。

事業分野ごとの状況は以下のとおりです。

#### 【繊維事業】

繊維事業は、国内では、産業用途が自動車メーカーの生産拡大に伴って自動車関連用途向けの販売が伸長するなど全般的に堅調に推移しましたが、衣料用途は春先の天候不順の影響などもあり需要は弱含みで推移しました。海外では、欧米景気減速の影響を受けてアジア地域の需要が低調に推移したことに加え、前年度第4四半期に引き続きタイの洪水の影響を生産・販売面で受けました。繊維事業全体では、売上高は前年同期比4.6%減の1,358億円、営業利益は同13.9%減の87億円となりました。

#### 【プラスチック・ケミカル事業】

プラスチック・ケミカル事業は、樹脂事業は、国内を中心に自動車メーカーの生産拡大に伴ってエンジニアリング・プラスチックの自動車関連用途への販売量が伸長しました。海外では、汎用ABS樹脂は、昨年から継続したサプライチェーンの在庫調整が最大需要地である中国を中心に底を打ったものの、経済の先行き不透明感から荷動きは引き続き低調に推移しました。フィルム事業は、世界的な景気低迷などの影響により国内外で需要が低調に推移するとともに価格競争激化が継続しました。プラスチック・ケミカル事業全体では、売上高は前年同期比5.6%減の972億円、営業利益は同36.5%減の55億円となりました。

**【情報通信材料・機器事業】**

情報通信材料・機器事業では、薄型テレビ市場の低迷による液晶パネルの生産調整は終了し緩やかな回復基調となりましたが、フィルム及びフィルム加工品をはじめ薄型テレビ関連製品は前年同期の水準までの回復には至らず、また最終製品の価格低下の影響もあり価格競争が激化しました。中・小型ディスプレイ関連部材は、スマートフォン関連材料など一部を除き総じて低調に推移しました。情報通信材料・機器事業全体で、売上高は前年同期比9.7%減の580億円、営業利益は同56.1%減の42億円となりました。

**【炭素繊維複合材料事業】**

炭素繊維複合材料事業では、航空機需要の拡大、圧縮天然ガスタンクなど環境・エネルギー関連需要の拡大が進む中で、航空・宇宙用途、一般産業用途への拡販を推進しました。スポーツ用途については、前年度下期以降、国内外で景気低迷の影響を受けて需要が低迷しており、徐々に回復の兆しが見られているものの、価格競争が激化しております。炭素繊維複合材料事業全体で、売上高は前年同期比3.2%減の184億円、営業利益は同19.0%減の22億円となりました。

**【環境・エンジニアリング事業】**

環境・エンジニアリング事業では、東レ本体の水処理膜事業においては、主要な市場である欧米、中東、中国などの需要は低調に推移しましたが、逆浸透膜をはじめ各種水処理膜の受注活動を世界各地で進めています。国内子会社では、建設・不動産子会社、エンジニアリング子会社の販売は前年同期に比べて堅調に推移しました。環境・エンジニアリング事業全体で、売上高は前年同期比27.6%増の385億円、営業損失は同13億円改善して1億円となりました。

**【ライフサイエンス事業】**

ライフサイエンス事業では、医療材については、昨年販売を開始した新規ポリスルホン膜人工腎臓トレライト®NVをはじめ順調に販売が拡大しましたが、医薬品については、本年4月の薬価改定による販売価格低下の影響もあり、ライフサイエンス事業全体として、売上高は前年同期比0.1%増の131億円、営業利益は同17.9%減の16億円となりました。

**【新規事業・新規投資など】**

当社は、本年6月、米国 Gevo 社との間で、当社が建設予定のパイロットプラントで製造するバイオマス原料由来のパラキシレン（バイオPX）を一定量引取るオフテイク契約を締結いたしました。この契約締結によって、当社は完全バイオマス原料由来ポリエチレンテレフタレート（完全バイオPET）に関して世界で初となるパイロットスケールでの実証が可能となり、2013年からエンドユーザーであるパートナーに供試し市場評価を開始する計画です。石油枯渇や石油価格の高騰が懸念される中、PETを再生可能なバイオマス原料のみから製造することは中長期的に重要な課題であり、当社は本課題の解決に対して精力的に取り組んでいきます。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、資産の部は、流動資産が受取手形及び売掛金が減少したものの、現金及び預金や棚卸資産などが増加したため前連結会計年度末比229億円増加し、固定資産は投資有価証券が減少したものの、有形固定資産が増加したことなどにより同117億円増加したことから、資産合計では同346億円増加の1兆6,161億円となりました。

負債の部は、有利子負債が増加したことを主因に前連結会計年度末比208億円増加の9,281億円となりました。

純資産の部は、純利益の計上による利益剰余金の増加に加え、為替換算調整勘定の変動などにより純資産合計で前連結会計年度末比139億円増加の6,880億円となり、このうち自己資本は6,386億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は、米国や新興国を中心とした成長により、全体としては緩やかに回復に向かうことが想定されるものの、欧州債務問題や中国経済などを巡る不確実性が引き続き懸念材料となる見通しです。日本経済は、エコカー補助金の終了はあるものの、復興関連需要の本格化や海外経済の持ち直しなどを背景に、緩やかな回復軌道をたどることが見込まれますが、依然先行きは不透明な状況にあります。

このような状況の下、当社グループは、引き続き、中期経営課題“プロジェクトAP-G 2013”への取り組みに注力してまいります。グループ横断的なテーマとして、地球環境問題や資源・エネルギー問題解決に貢献する事業の拡大を目指す「グリーンイノベーション事業拡大(GR)プロジェクト」、成長著しいアジア・新興国の経済成長を取り込み当該地域での事業拡大を図る「アジア・新興国事業拡大(AE)プロジェクト」、強靱な企業体質を更に強化するための「トータルコスト競争力強化(TC-II)プロジェクト」という3つのプロジェクトを推進し、成長戦略の推進と収益基盤の強化に努めてまいります。

当連結会計年度の業績予想につきましては、2012年5月8日に公表いたしました予想数値から変更はございません。なお、7月以降の為替レートは79円/ドルを想定しています。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	81,398	96,569
受取手形及び売掛金	283,628	268,379
商品及び製品	161,757	170,698
仕掛品	73,032	79,072
原材料及び貯蔵品	60,956	63,888
その他	67,737	72,324
貸倒引当金	△2,269	△1,801
流動資産合計	726,239	749,129
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	174,720	181,250
機械装置及び運搬具(純額)	225,399	234,180
土地	69,595	70,194
建設仮勘定	76,971	78,524
その他(純額)	15,238	16,997
有形固定資産合計	561,923	581,145
無形固定資産		
のれん	31,862	31,126
その他	10,758	11,412
無形固定資産合計	42,620	42,538
投資その他の資産		
投資有価証券	160,174	152,232
その他	92,937	93,410
貸倒引当金	△2,392	△2,335
投資その他の資産合計	250,719	243,307
固定資産合計	855,262	866,990
資産合計	1,581,501	1,616,119

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2012年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	182,071	175,657
短期借入金	101,758	113,997
1年内返済予定の長期借入金	46,246	45,097
コマーシャル・ペーパー	25,000	50,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	12,494	6,573
引当金	16,682	9,703
その他	121,578	126,445
流動負債合計	515,829	537,472
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	235,961	233,696
退職給付引当金	65,684	66,039
その他の引当金	4,393	3,864
その他	25,485	27,039
固定負債合計	391,523	390,638
負債合計	907,352	928,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	147,873	147,873
資本剰余金	136,740	136,748
利益剰余金	430,365	432,292
自己株式	△1,194	△1,139
株主資本合計	713,784	715,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,659	15,107
繰延ヘッジ損益	△78	△208
為替換算調整勘定	△107,254	△92,107
その他の包括利益累計額合計	△86,673	△77,208
新株予約権	287	317
少数株主持分	46,751	49,126
純資産合計	674,149	688,009
負債純資産合計	1,581,501	1,616,119



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

① 四半期連結損益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2011年4月1日 至2011年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2012年4月1日 至2012年6月30日)
売上高	374,833	364,092
売上原価	294,772	291,342
売上総利益	80,061	72,750
販売費及び一般管理費	52,798	55,483
営業利益	27,263	17,267
営業外収益		
受取利息	183	169
受取配当金	1,142	1,222
持分法による投資利益	1,844	1,758
雑収入	1,295	1,444
営業外収益合計	4,464	4,593
営業外費用		
支払利息	1,391	1,419
雑損失	1,257	1,336
営業外費用合計	2,648	2,755
経常利益	29,079	19,105
特別利益		
有形固定資産売却益	38	119
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	39	119
特別損失		
有形固定資産処分損	301	424
災害による損失	337	875
投資有価証券評価損	66	1,384
その他	71	17
特別損失合計	775	2,700
税金等調整前四半期純利益	28,343	16,524
法人税等	9,326	6,282
少数株主損益調整前四半期純利益	19,017	10,242
少数株主利益	1,249	160
四半期純利益	17,768	10,082

②四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,017	10,242
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	281	△5,533
繰延ヘッジ損益	△296	△156
為替換算調整勘定	9,135	15,833
持分法適用会社に対する持分相当額	419	840
その他の包括利益合計	9,539	10,984
四半期包括利益	28,556	21,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,264	19,547
少数株主に係る四半期包括利益	2,292	1,679

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)

(単位:百万円)

	織	繊維	プラスチック・ケミカル	情報通信材料・機器	炭素繊維複合材料	環境・エンジニアリング	ライフサイエンス	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高											
外部顧客への売上高	142,258	102,983	64,265	18,973	30,137	13,125	3,092	374,833	-	374,833	
セグメント間の内部売上高又は振替高	176	7,181	1,612	119	8,064	-	4,020	21,172	△ 21,172	-	
計	142,434	110,164	65,877	19,092	38,201	13,125	7,112	396,005	△ 21,172	374,833	
セグメント利益又は損失(△)	10,151	8,646	9,473	2,717	△ 1,362	1,934	112	31,671	△ 4,408	27,263	

(注) 1. その他は分析・調査・研究等のサービス関連事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△4,408百万円には、セグメント間取引消去308百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,716百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2012年4月1日 至 2012年6月30日)

(単位:百万円)

	織	繊維	プラスチック・ケミカル	情報通信材料・機器	炭素繊維複合材料	環境・エンジニアリング	ライフサイエンス	その他(注)1	合計	調整額(注)2	四半期連結損益計算書計上額(注)3
売上高											
外部顧客への売上高	135,767	97,232	58,031	18,358	38,455	13,143	3,106	364,092	-	364,092	
セグメント間の内部売上高又は振替高	201	6,744	1,487	85	13,865	-	4,057	26,439	△ 26,439	-	
計	135,968	103,976	59,518	18,443	52,320	13,143	7,163	390,531	△ 26,439	364,092	
セグメント利益又は損失(△)	8,744	5,489	4,163	2,202	△ 110	1,588	222	22,298	△ 5,031	17,267	

(注) 1. その他は分析・調査・研究等のサービス関連事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△5,031百万円には、セグメント間取引消去5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,036百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社研究費等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。